

2020年6月22日
北九州市
九州電力株式会社 北九州支社
九州電力送配電株式会社北九州支社
日産自動車株式会社
日産自動車九州株式会社
福岡日産自動車株式会社
北九州日産モーター株式会社
日産プリンス福岡販売株式会社

**北九州市、九電グループ、日産自動車、
「電気自動車を活用したSDGs連携協定」を締結
～災害対応力の強化と低炭素社会の実現を目指して～**

北九州市(福岡県北九州市、市長:北橋 健治)、九州電力株式会社北九州支社(福岡県北九州市小倉北区、支社長:柚須 亮太郎)及び九州電力送配電株式会社北九州支社(福岡県北九州市小倉北区、支社長:田中 英紀)と、日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:内田 誠)、日産自動車九州株式会社(本社:福岡県京都郡苅田町、社長:富山 隆)、ならびに、福岡日産自動車株式会社(本社:福岡県福岡市博多区、社長:太田 憲男)、北九州日産モーター株式会社(本社:福岡県北九州市八幡西区、社長:菊竹 史郎)日産プリンス福岡販売株式会社(本社:福岡県福岡市中央区、社長:寺田 繁人)の8者は、22日、「電気自動車を活用したSDGs連携協定」を締結しました。

近年、地球温暖化により、激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、防災能力を高める取組みが必要とされています。【気候変動×防災】

また、電気自動車(EV)の活用及び普及を促進し、低炭素社会を実現することで、北九州市が目指すSDGs達成への取組みの一環として締結されました。

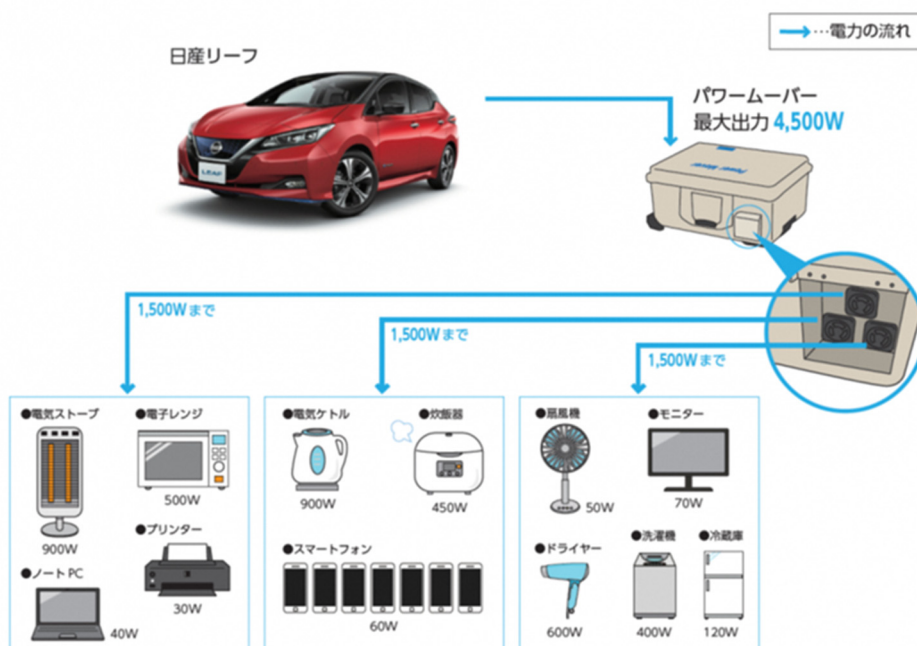
1 「電気自動車を活用したSDGs連携協定」の項目

- (1) 電気自動車(EV)の活用及び普及促進による市民の環境意識の向上
- (2) 災害時における電気自動車(EV)活用による市民の安全確保
- (3) その他、持続可能なまちづくりに関する事項

2 「災害時における電気自動車(EV)活用による市民の安全確保」の概要

- (1) 日産自動車九州および福岡日産自動車、北九州日産モーター、日産プリンス福岡販売は、北九州市で災害発生を起因とする停電が発生した際、市が指定する避難所等に、電気自動車(EV)「日産リーフ」を無償で貸与する。
- (2) 九電グループは、北九州市と緊密な連携をとり、災害の発生に起因した停電情報及び復旧情報を適宜提供し、避難所等に派遣する電気自動車(EV)の最適配置と効率的運用をサポートする。
- (3) 北九州市、九電グループ、日産自動車、日産自動車九州、福岡日産自動車、北九州日産モーター、日産プリンス福岡販売の協力により電気自動車(EV)からの給電を行うことで、災害時においても継続して電力が供給できる体制を整え、避難所等の円滑な運営を図り、市民の生命及び身体の安全を守る。
- (4) 北九州市、九電グループ、日産自動車、日産自動車九州、福岡日産自動車、北九州日産モーター、日産プリンス福岡販売は、平常時も電気自動車(EV)を含めた環境対策のほか、市のイベントで使用する電力を電気自動車(EV)から供給することで、『電気自動車は「走る蓄電池」』としての災害時・停電時等の有効性、活用を市民へ積極的にアピールし、環境意識・防災意識向上を目指す。

災害発生時の「日産リーフ」からの電力供給イメージ図



3 その他、持続可能なまちづくりに関する事項(市及び各企業の取組み)

(1) 北九州市の取組み

北九州市は、「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」に選定されており、SDGs の達成に向けて、“「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される「グリーン成長都市」というビジョンのもと、さまざまな取組みを進めています。その一環として、電気自動車の普及促進にも努めており、電気自動車(EV)から電気を取り出す可搬型給電器の区役所への導入や、公用車への電気自動車(EV)等の次世代自動車の導入などを推進しています。

(2) 九電グループの取組み

九電グループは、「ずっと先まで、明るくしたい。」というブランドメッセージのもと、快適で環境にやさしい電気エネルギーを安定的にお届けすることにより、世の中の電化を促進し、低炭素で持続可能な社会の実現を目指しています。その一環として、電気自動車の普及拡大や地域と連携した災害に対するレジリエンス強化の取組み等を推進しています。

(3) 日産自動車の取組み

日産自動車は、日本が抱える環境負荷低減や災害対策等の課題を解決するため、2018年5月に日本電動化アクション『ブルー・スイッチ』を発表し、その活動を牽引するリーダーとして、全国の自治体や企業と協力して、電気自動車(EV)普及を通じた社会の変革に積極的に取り組んでいます。この日産自動車が進める「ブルー・スイッチ活動」、そして、北九州市が目指す SDGs 実現に向けた取組み推進、九電グループの低炭素で持続可能な社会の実現に向けた取組みに、それぞれが賛同し、今回本協定の締結を行う運びとなりました。今回の「連携協定」も、日産のブルー・スイッチの活動に基づくものであり、日産自動車と締結した自治体・企業との連携協定としては、今回の締結が全国で41件目となります。また、日産にとって、災害時における電力会社との電気自動車を活用した連携は、全国初となります。

4 3者共同の目標

北九州市、九電グループ、日産自動車は、今後もこの協定締結を機に、災害対応力強化と低炭素社会の実現を目指し、環境活動の推進や、電気自動車(EV)を活用した持続可能なまちづくりを推進していきます。そして、SDGs の実現を目指し、連携を更に強化してまいります。